

## 苫小牧で「健康相談会」

18人からアスベスト・じん肺・振動障害・難聴の相談

3月20日に苫小牧で「健康相談会」をおこないました。苫小牧での相談会は4年ぶり、道本部労災職業病部会が準備し、札幌労災支部と函館支部が担当しました。当日は16人の相談者が会場を訪れ、事前の電話相談も2件ありました。アスベストについての相談が9件（健康管理手帳、建設アスベスト給付金など）、じん肺が5件、振動障害が4件、騒音性難聴が8件などでした。また、このうち2人がアスベストで、2人がじん肺で、1人が振動障害で検査を受ける予定です。

## 北海道鉄道本部が春闘妥結

JR北海道 3年連続でベースアップ

北海道鉄道本部は3月22日午後3時30分をもってJR北海道の春闘回答を妥結しました。賃金引き上げは一般社員が定期昇給をふくめ平均7,293円で、このうちベースアップ分は1,500円（昨年は1,000円）です。エルダースタッフは7,500円の引き上げで、高卒初任給が前年比15,553円引き上げられました。

2月14日に要求書を提出して以降、2月21日に会社から概況説明があり、その後6回に及ぶ団体交渉を経て最終回答に至りました。団体交渉では賃金改定のあり方について組合の考え方を繰り返し述べ、話し合いの中から会社が苦慮している問題が鮮明になりましたし、政府の姿勢を確認すべき課題がハッキリとみえました。また、社員・家族を大切にする会社の姿勢が重要とした建交労の思いも伝えられたものと考えています。少ないながらも昨年を上回るベースアップの実施と組合が求めていた初任給の見直しをおこなった努力を評価し、処遇改善は早期に実施する必要性を共通認識となっている点をふまえて妥結したものです。

## 札幌定温分会 賃上げと夏季一時金を妥結

札幌地域支部札幌定温分会は、3月18日の団体交渉で6,000円の賃金増額（定期昇給は別）を引き出しました。また、企業内最賃は4月から30円引上げ（990円）となり、例年10月の北海道の地域最賃改定時に見直しが見込まれる予定です。5万円の引上げを求めていた賞与では、夏季一時金については満額回答をかちとりました。賃金引上げと夏季一時金については妥結し、そのほかの諸要求については引き続き団体交渉が持たれる予定です。

## 2つの職場組織が要求書提出

殖産運輸支部 は3月3日に要求書を提出しました。「基本給38,000円増額」「夏季一時金・基本給の1.5か月分、冬季一時金・基本給の2.5か月分」「燃料手当・10万円」などとともに労働条件の改善を求めています。

札幌合同支部リヴィノールシステム分会 は3月25日に要求書を提出。賃金要求は、正職員の基本給一律50,000円増額、準職員・パートナー職員・アルバイトの時給一律525円増額、時間給の最低賃金1,500円、賞与は正職員の夏期一時金3.0か月分、準職員・パートナー職員2.0か月分（年間3.0か月分）、アルバイト職員・継続雇用職員の夏期一時金20,000円などです。